

CSR(企業の社会的責任)

フィールズのCSR

フィールズは「すべての人に最高の余暇を」提供するという企業理念のもと、創業以来、より多くの人の余暇時間の充実のため、より多くの人の笑顔のために、素晴らしいエンタテインメントとは何かを研究し、その創造に挑戦し続けています。

21世紀の成熟化する社会においては、人々の余暇時間の増加傾向は続いていくものと認知されています。私たちは、この増加をたどる余暇に対して商品・サービスを提供し、余暇の充実を図ることで、人々の生活や人生を豊かにできると考えています。さらに、これらの取り組みを持続的に行うことが、社会全体の幸せにつながると確信しています。

つまり、私たちの企業理念に基づいた行動そのものが社会的責任を果たすことであり、こうした考えに基づき行動することが、当社グループの商品・サービスをご愛顧頂いている皆様や、資本をお預け頂いている株主の皆様のみならず、社会や地球環境などの当社を取り巻くすべてのステークホルダーに対する責務であると考えています。

CSR推進体制

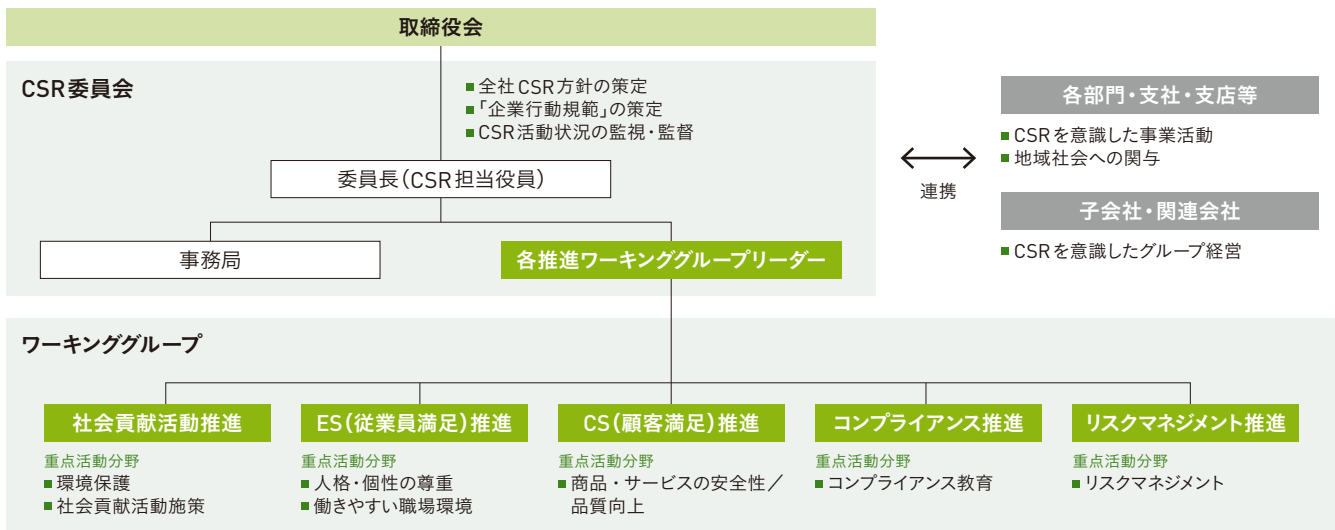
フィールズは企業理念の実現と、自らの社会的責任を果たし、より豊かな社会の実現に貢献するために、事業を通じてその責任を果たすだけでなく、地球環境保護や文化・スポーツなどを通じた社会貢献活動などを実施してきましたが、2008年5月に、より機動的かつ体系化されたCSR活動を推進すべく、「CSR委員会」を設置しました。

このCSR委員会では、社会貢献活動、ES(従業員満足)、CS(顧客満足)、コンプライアンス、リスクマネジメントの5つを重要項目と位置づけ、各ワーキンググループによってCSR活動を積極的に推進していきます。

CSR委員会

CSR委員会は、CSR担当役員が委員長を務め、各推進ワーキンググループリーダー、事務局スタッフによって構成され、当社のCSR経営に関する方針の策定及び企業行動規範の承認、各推進ワーキンググループによるCSR推進活動のモニタリングを行っています。

CSR推進体制





ワーキンググループの役割

各推進ワーキンググループがそれぞれの活動方針に基づいて具体的施策を企画立案し、その遂行に向けて独自に活動を展開しています。活動の状況は、適時事務局に共有され、四半期ごとにCSR委員会へ報告されています。

ワーキンググループの活動方針

社会貢献活動推進	地球環境との調和を図り、企業を取り巻くステークホルダーの皆様との良好な関係を築くため、環境保護及び社会貢献に資する施策を遂行しています。
ES(従業員満足)推進	お客様や取引先様に喜びを提供するためには、従業員自身が喜びを感じることができる風土・環境・価値観の醸成が必須であるという考えのもとに、従業員の人格・個性の尊重の具現化と、従業員が安心してのびのびと働ける環境を創造する施策を遂行しています。
CS(顧客満足)推進	お客様と取引先様に喜びを提供するとともに、お客様と取引先様からの信用と信頼を獲得するため、当社が提供する商品・サービスの安全性と品質の向上に資する施策を遂行しています。
コンプライアンス推進	企業を取り巻くステークホルダーの皆様からの信用と信頼の獲得のためには、すべての事業活動が適正かつ適法に遂行されなくてはならないという考えのもとに、当社で働くすべての人に、法令遵守はもとより高い倫理観と道徳意識を醸成させる施策を遂行しています。
リスクマネジメント推進	企業の事業活動の安全性を向上させるとともに、従業員や会社の関係者の安全を確保するため、事故や災害のみならず、事業全般に関わるあらゆるリスクについて予防並びに発生時の対策を整備し、リスクの回避、低減、影響の最小化を実現するための体制の構築を図っています。

VOICE

CSRの本質は本業の追求とそれを支える人材育成

当社が社会的責任を果たすために追求すべきは、本業、つまり人々の心を豊かにする商品やサービスをお届けすることによって、よりよい社会に貢献することです。私たちは、企業理念である「すべての人に最高の余暇を」の実現のため、最先端のテクノロジーや秀でたクリエイティビティを持つ様々なパートナーやお取引先とともに、人々に喜んで頂ける商品やサービスの提供に努めています。そしてその中核にIPの価値最大化を据え、コンテンツの創出・育成に取り組んでいます。魅力あるエンタテインメントを世の中へ提供することは、多くの人々を笑顔にし、その対価として頂く利益が会社を成長させ、株主の皆様とともに成長の喜びを分かち合うことができると確信しています。お客様の支持を得ることはまた、当社を取り巻くすべてのステークホルダーとの良好な関係構築、社会からの信頼の獲得にもつながります。持続的成長とはこのような循環を作っていくことにほかなりません。当社では、この循環の源であり、CSRの主役である従業員が、能力を存分に活かし、誇りを持って働くことができるよう、中長期を見据えて人材を育成する仕組みづくりを大きなテーマの一つとして取り組んでいます。

例えば、時間や距離、部署や世代などの壁を取り払い、マネジメント・従業員全員が対等な関係でコミュニケーションをとれるインフラの整備を進めています。そこでは、新たなプロジェクトの構想やアイデアの交換が行われ、違う視点を持つ者同士のコミュニケーションは多くの気づきを生み出します。そのような活発なクリエイティブ・コミュニケーションは、多様な人材の力を効果的に引き出し、従業員のモチベーションの向上、そして新たなエンタテインメントの創出と市場での競争優位性の確立につながると考えています。

具体的な取り組み (2012年4月～2013年8月)

社会貢献活動推進

節電の取り組みを推進しています。(クールビズ対応)

2013年も、2011年及び2012年の夏季(5月～10月)・冬季(11月～3月)に実施した節電の取り組みを継続的に推進し、5月7日(火)～10月31日(木)をクールビズ期間と定め、空調関連・施設関連・OA機器・クールビズ対応など、様々な節電施策を推進しています。

なお、2011年、2012年夏と同様に、クールビズに対応した当社指定のオフィシャルシャツを従業員に支給しています。夏季期間においては、本オフィシャルシャツを通常のスーツと同様に正装と定めて、スーパークールビズと併用し、一層の節電協力並びに従業員の意識向上を図っていきます。

渋谷区南平台町清掃活動を毎月1回実施しています。

2013年3月より毎月、本社所在地である東京都渋谷区南平台町の清掃活動をCSR活動(社会貢献活動)の一環として実施しています。

参加にあたっては、社員の有志20数名が毎回参加し、主に本社周辺をはじめとする南平台町の清掃活動を実施しています。

今後も地域社会貢献・環境保護につながる、様々な活動を継続的に取り組んでいきます。



(株)アートネイチャーと共同で代々木公園清掃活動を実施しました。

本社所在地にある東京都渋谷区の代々木公園にて、CSR活動(社会貢献活動)の一環として、(株)アートネイチャーと共同で清掃活動を実施しました。

同活動には両社の社員及び家族の有志55名が参加し、交流を深めながら代々木公園の中央広場周辺を中心に清掃を行いました。

当社では、今後も他の企業と協力し、地域社会貢献・環境保護につながる諸活動を継続的に取り組んでいきます。



社外からの評価：フィールズのIRサイトが、下記のIRサイト評価ランキングにて選定されました。

①モーニングスター(株)発表の「Gomez IRサイトランキング 2013」に選定されました。(2013年4月)

モーニングスター(株)が発表した「Gomez IRサイトランキング 2013」において、JASDAQ・マザーズなどの「新興市場ランキング」では2年連続で1位に、全上場企業を対象とした「サイト総合ランキング」では2年連続で優秀企業・銅賞に選定されました。

②日興アイ・アール(株)発表の「2012年度最優秀サイト」に選定されました。(2012年11月)

日興アイ・アール(株)が発表した「2012年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」において、「最優秀サイト」(総合ランキング：5年連続選定、新興市場ランキング：3年連続1位、業種別ランキング：2年連続1位)に選定されました。

③大和インベスター・リレーションズ(株)発表の「2012年インターネットIR・優秀賞」に選定されました。(2012年11月)

大和インベスター・リレーションズ(株)が発表した「2012年インターネットIR表彰」(最優秀賞4社、優秀賞17社、優良賞118社)において、「優秀賞」に選定されました。

この表彰を大変荣誉に感じつつ、引き続きIR活動の一層の充実を図り、株主並びに投資家の皆様に、よりお役立て頂ける情報提供とコミュニケーションの場づくりを推進していきます。



リスクマネジメント推進

情報資産の管理強化に取り組んでいます。

当社は、2007年8月に情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格である「ISO/IEC 27001: 2005」及びその国内規格である「JIS Q 27001: 2006」の認証を取得し、認証維持審査を経て2013年7月に同規格の認証を更新しました。

当社は、近年の急速な情報技術の発展に伴い、情報資産の管理に関する関心が高まっていることを踏まえ、セキュリティ対策を継続的に強化していくことは社会的責務であると認識し、かねてから取り組みを行ってきました。第三者機関からの認証の取得、継続的な更新は、当社が推進している情報セキュリティ対策が、客観的な視点から国際的なレベルに達していると認められたことを示します。

今後も、社会及びお客様からの信頼にお応えするため、全社員が情報セキュリティに対して高い意識を持ち、さらなる情報セキュリティマネジメントシステムの向上に取り組んでいきます。



コンプライアンス推進

グループ全体でコンプライアンスの強化を図っています。

当社では、集合研修やイントラネットを活用したeラーニングの実践によって、法令遵守はもとより高い倫理観と道徳意識を醸成させる活動を推進しています。

グループ会社に対しては、これまで集合研修を中心にコンプライアンス教育を行っていましたが、2013年7月よりeラーニングシステムを導入し、受講環境の改善を図っています。

今後も、グループ全体にコンプライアンス意識が定着し、事業活動が法律やルールに従って適正に遂行されることを目指し、活動の多様化・充実化に努めていきます。



ES推進

CSR座談会を開催しました。

2012年6月にCSR活動の社内啓蒙の一環として、社内向けに「CSR報告書Vol.0」を発刊しました。加えて、発刊後に実施したアンケートをもとに、2012年10月に、CSR委員長である伊藤取締役と、フィールズの未来を担う若手社員が座談会を行いました。

座談会では、フィールズにとってのCSRとは何か、さらに社内にCSRの意識を浸透させるにはどうすべきかなどについて話し合いました。

企業理念である「すべての人に最高の余暇を」の実現のために、企業として、社会の公器としてさらなる価値のある会社を目指していこうという想いを共有することができました。



その他の取り組み

社会貢献活動推進	<ul style="list-style-type: none"> ■チャリティーゴルフトーナメントに協賛 ■渋谷警察署の犯罪防止キャンペーンに協力し、ウルトラマンやカネゴンが登場 ■夏季、冬季の節電の取り組みを推進 ■『「鳥の島」再発見ツアー in お台場海浜公園』(清掃活動)に参加 ■渋谷区「第13回 大向地区町会連合・防災訓練」に参加 ■(社)JEAN主催「鶴沼海岸クリーンアップキャンペーン」に参加 ■本社ビル及び全国支社支店へAED(自動体外式除細動器)を導入、取り扱い講習を実施
ES推進	<ul style="list-style-type: none"> ■全国の営業社員向けに安全運転講習会を実施
CS推進	<ul style="list-style-type: none"> ■品質マネジメントシステム「ISO9001: 2008」の認証を継続

その他の取り組みの詳細情報につきましては、以下ウェブサイトをご覧ください。

 www.fields.biz/ir/jr/csr/action/

PICK UP

子どもたちの今と未来を支援する「ウルトラマン基金」



設立：2011年3月
運営事務局：
(株)円谷プロダクション

基金の概要及び活動については、
基金オフィシャルウェブサイトをご
覧ください。
<http://www.ultraman-kikin.jp/>

フィールズグループでは、東日本大震災の被災地復興に協力すべく、(株)円谷プロダクションを中心にグループ内の賛同企業各社とともに2011年3月に設立した「ウルトラマン基金」に思いを託し、子どもたちへの物心両面からの支援活動に継続的に取り組んでいます。

「ウルトラマン基金」は、被災された皆様、とりわけ新しい未来を切り拓く子どもたちへの支援として、物資支援にとどまらず、ヒーローショーなどの子どもたちとの触れ合いを通じて、子どもたちに笑顔を届ける諸活動に尽力しています。

同基金は、2011年に引き続き2013年3月に福島県・宮城県・岩手県への寄付金の贈呈、マイクロバスの寄贈や、円谷ヒーローたちが被災地の78か所を訪れて子どもたちの夢を応援する「ヒーローキャラバン～子どもたちの心に光を～ 78 Places in 東北」を展開するなど、継続的に支援活動を行っています。

活動紹介

福島県・宮城県・岩手県への寄付金、マイクロバスの寄贈

東日本大震災の発災から2年が経過した今もなお、子どもたちに対する支援が必要であることから、2013年3月に、ウルトラヒーローの訪問とともに寄付金の贈呈及びウルトラヒーローのラッピングを施したマイクロバスの寄贈を行いました。

寄贈したマイクロバスは、園児・小・中学生の通園・通学、課外事業やスポーツサークルの遠征時などに活用されます。子どもたちの笑顔に乗せたマイクロバスが、少しでも被災地を明るくすることを願っています。



2013年 主な活動

- | | |
|------------|---|
| 2013年3月11日 | ■ 福島県富岡町へマイクロバスを寄贈 |
| 2013年3月12日 | ■ 「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄付金2,500万円を贈呈
■ 「東日本大震災みやぎこども育英募金」へ寄付金2,500万円を贈呈
■ 宮城県東松島市へマイクロバスを寄贈 |
| 2013年3月18日 | ■ 岩手県宮古市へマイクロバスを寄贈
■ 「いわての学び希望基金」へ寄付金2,500万円を贈呈 |

ヒーローキャラバン

～子どもたちの心に光を～ 78 Places in 東北の実施

2013年3月、ウルトラマン基金は、円谷ヒーローたちが被災地の78か所を訪れて子どもたちの夢を応援する「ヒーローキャラバン～子どもたちの心に光を～ 78 Places in 東北」をスタートさせました。2013年9月までに39か所の保育園や幼稚園、ボランティアセンター等へのキャラバン訪問を実施し、3,500名以上の子どもたちと触れ合いました。ヒーローと触れ合い、笑顔で過ごす時間の中で、子どもたちが自然に将来の夢や希望を語る事ができる機会を作りたいと考えています。

今後も子どもたちに心からの笑顔が戻るよう、積極的な活動を継続していきます。

